

# ガス管損傷によるガス事故防止について

経済産業省  
中部近畿産業保安監督部近畿支部  
保安課

令和7年11月13日

# 近畿支部管内における都市ガス事故の発生状況（2024年）

※速報値のため、変更等があり得ます。

## ①ガス事故報告件数 事業別（過去10年間）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
一般ガス導管 事業関連	155	139	111	103	143	107	119	128	64	52
旧簡易ガス 事業関連	5	3	1	4	3	2	2	1	2	1
合計	160	142	112	107	146	109	121	129	66	53

2024年に発生した近畿管内におけるガス関係報告規則第4条第1項に該当する 詳報対象事故の発生件数は、53件となった。

2022年から2023年の事故発生件数の減少の理由は、2023年3月31日付でガス事故報告の運用が変更※になったことに伴うもの。

※「交通渋滞、公共交通機関の運行支障又は付近住民の往来困難等を招來したもの」を「高速道路・国道・都道府県道において、片側若しくは両側通行規制を來した場合又は電車・バス等公共交通機関について、運行停止若しくは大幅な遅延を來したもの」に変更。

## ②ガス事故報告件数 段階別（過去3年間）

	2022年	2023年	2024年
製造段階	0	1	0
供給段階	102(1)	43(2)	26
死傷事故件数	0	0	1
消費段階	27	22	27(1)
死傷事故件数	1	1	2
合計事故件数	129(1)	66(2)	53(1)

※ ()内は旧簡易ガス事業関連の数字

- ・2024年は死傷事故が「供給段階」で1件、「消費段階」において2件発生。
- ・「供給段階」は、漏えいしたガスへの着火により1名が負傷したもの。
- ・「消費段階」は、2件ともにCO中毒（疑い含む）により負傷したもの。

# 近畿支部管内における都市ガス事故の発生状況（2024年）

## ③供給段階における現象別件数（過去3年間）

	2022年	2023年	2024年
供給支障	9(1)	3(1)	1
着火・爆発・中毒等	2	0	6
避難・交通困難	90	40(1)	19
合計事故件数	101(1)	43(2)	26

※()内は旧簡易ガス事業関連の数字

※現象については重複があるため、合計とは一致しない

※速報値のため、変更等があり得ます。

- 「避難・交通困難」を伴う事故が19件発生しており、現象として最も多く発生している。
- 「供給支障」が1件発生しており、地盤改良工事時にボーリングマシンにて灯外内管が破損し、湧水が管内へ流入したもの。
- 「着火・爆発・中毒等」の6件の内訳は、他工事が2件、自然劣化が1件、自然現象が1件、不適切使用が1件、不明が1件となっている。

## ④供給段階における要因別件数（過去3年間）

	2022年	2023年	2024年
他工事	39(1)	15	12
導管工事	2	0	0
自然劣化	35	21(2)	6
物理的外力	2	1	0
その他	23	6	8
合計事故件数	101(1)	43(2)	26

※()内は旧簡易ガス事業関連の数字

- 「他工事」による事故が12件、「自然劣化」による事故が6件発生した。
- 「その他」は車両飛込みや自然現象等。

### （参考）管種別の自然劣化による事故（過去3年間）

	2022年	2023年	2024年	合計
ねずみ鋳鉄管	0	0	0	0
アスファルトジュート巻き鋼管	11	4	1	16
亜鉛メッキ鋼管	6	2	2	10
ポリエチレン被覆鋼管	6	5	1	12
その他	3	2	2	7
不明	1	1	0	2
合計	27	14	6	47

# 近畿支部管内における都市ガス事故の発生状況（2024年）

※速報値のため、変更等があり得ます。

## ⑤現象別他工事による事故 (過去3年間)

	2022年	2023年	2024年
供給支障	1(1)	0	1
中毒・酸欠	0	0	0
着火・爆発	1	0	2
避難・交通困難	38	15	9
他工事事故の合計	39(1)	15	12
事前照会あり	15(1)	8	6
事前照会なし	24	7	6

※()内は旧簡易ガス事業関連の数字

※現象については重複があるため、合計とは一致しない

- 他工事事故のうち、半数は事前照会が無かったものである。また、9件が敷地内において発生している。
- 事前照会があったにもかかわらず事故に至ったものは6件あり、要因としては「事前照会時と異なった作業を連絡せずに実施した」ものや、「他工事業者内で現場作業員への連絡不備」等となっている。

## ⑥工事業者別の他工事による事故 (過去3年間)

	2022年	2023年	2024年	合計
解体工事業者	12	8	5	25
建築工事業者	11	2	2	15
水道工事業者	5(1)	2	0	7(1)
下水道工事業者	1	0	2	3
道路工事業者	2	1	0	3
外構工事業者	1	0	0	1
改装工事業者	1	0	2	3
電気工事業者	1	0	0	1
基礎工事業者	0	0	0	0
設備工事業者	0	0	0	0
電柱工事業者	0	0	0	0
土質調査業者	0	2	1	3
その他	5	0	0	5
合計	39(1)	15	12	66(1)

※()内は旧簡易ガス事業関連の数字

- 他工事事故は、解体工事業者、建築工事業者、水道・下水道事業者の順で多く発生している。

## 近畿支部管内における都市ガス事故の発生事例（令和6年）

他工事業者（解体工事業者）が建物解体現場の灯外内管部分を重機により引張り不使用供給管を破損し、ガスが漏えい。周辺道路の交通規制（46分間）が実施された。

他工事業者（解体工事業者）から「ガス配管をブレーカーにて破損した」との通報を受け調査したところ、低圧本管からのガス漏えいを確認。ガス漏えいが確認されたため、周辺道路の交通規制（72分間）が実施された。

他工事業者（解体工事業者）から「敷地内の工事中にガス臭気あり」との連絡を受けて調査したところ、解体中に灯外内管の破損によるガス漏えいを確認。このため近隣会社の従業員の避難（1名、138分間）を実施した。また、周辺道路の交通規制（128分間）が実施された。

## 近畿支部管内における都市ガス事故の発生事例（過去の主な事例）

他工事業者（建築工事業者）が外構工事中にサンダーで、灯外内管継手部（アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。**破損箇所より1.0m程度炎が上がったが**、消防により散水・消火。周辺道路の交通規制が実施された（139分間）。

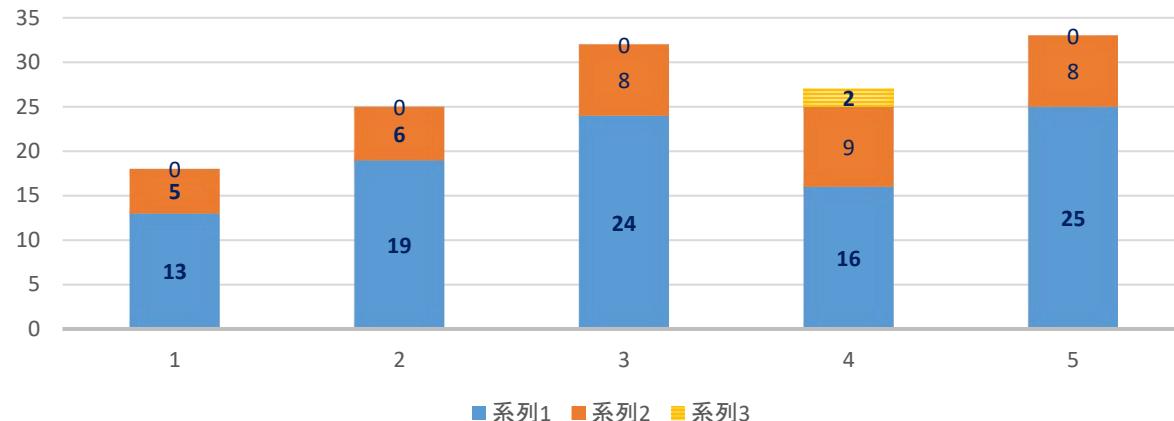
他工事業者（電柱工事業者）が舗装カッターで、本管管体（中圧、アスファルトジュート巻き鋼管）を破損し、ガスが漏えい。**供給支障（454戸・10時間43分）が発生**するとともに、周辺道路の交通規制（280分間）及び周辺高校生徒の避難（30名・部活を切り上げ帰宅）が実施された。

他工事業者（水道業者）がバックホーで、供給管継手部（ポリエチレン管）を破損し、ガスが漏えい。**発電機一体型の投光器に着火し作業者1名が1度の火傷を負った**。周辺道路の交通規制が実施された（31分間）

# 最近の L P ガス事故発生件数の推移（全国・近畿）

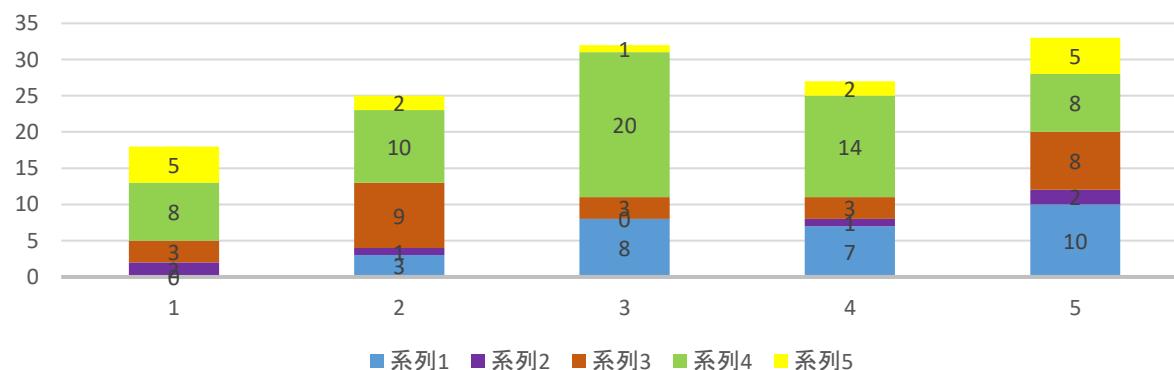
※速報値のため、変更等があり得ます。

## 事象別発生件数（近畿）



近畿管内の事故の事象別では、漏えいは増加。漏えい爆発・火災は微減。

## 起因者別発生件数（近畿）



近畿管内の事故の起因者別では、その他事業者（他工事等）は減少に転じたものの、販売事業者等による事故は増加している。

※ L P ガス販売事業者及び保安機関の他、 L P ガス配送事業者を含む。

## 令和7年に発生したLPGガス事故の事例（近畿）

	日付	他工事事故の概要
1	1月24日	一般住宅の敷地内において、他工事業者が <b>建物解体中</b> に埋設配管を破損し、ガスが漏えいした。
2	2月5日	小学校の改修工事中に <b>解体業者</b> が建物の外壁を内側から解体していたところ、外壁に設置されていた液化石油ガス配管に気がつかず撤去作業を行い、配管を損傷しガスの漏えいが発生したもの。
3	3月22日	一般住宅の敷地内において、他工事業者が <b>建物解体中</b> に露出配管を破損し、ガスが漏えいした。
4	3月25日	一般住宅の敷地内において、他工事業者が <b>建物解体中</b> に埋設配管を破損し、ガスが漏えいした。
5	4月22日	一般住宅において、他工事業者が <b>建物解体中</b> に埋設配管を破損し、ガスが漏えいした。
6	5月17日	一般住宅において他工事業者（下水道工事）が作業中、電動工具にてコンクリート破碎作業中に、誤って埋設配管を破損しガスが漏えいした。
7	5月17日	支援学校において他工事業者（ <b>解体工事</b> ）が作業中、重機にて誤って埋設配管を破損しガスが漏えいした。
8	8月20日	保育所において、他工事業者（リフォーム業者）が重機で掘削中に埋設ガス管（PE管）を破損させた。
9	8月24日	分譲地において、土地所有者から除草作業の委託を受けた業者が誤って草刈り機で供給管の露出部を損傷させてガスが漏えいした。
10	8月25日	中規模導管供給の団地の空き地において、他工事業者（下水道工事業者）が重機で埋設供給管を破損させてガスが漏えいした。

# ガス管損傷による事故を起こさないために

## ガス管損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかり確認。  
作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

Point

1

### 工事前にまず確認!

工事前にガス管位置やガス  
が通じていないことを確認。  
ガス管付近は特に慎重に手  
掘り等で作業する。



Point

2

### 不明な場合は ガス事業者へ連絡!

ガス管の位置や深さが不明  
な場合やガス管の撤去・移  
設工事が必要な場合。  
その他、必要に応じてガス  
事業者にご相談ください。

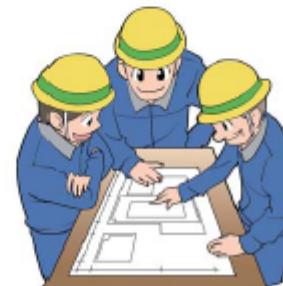


Point

3

### 情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、  
図面などで作業員全員で  
情報を共有する。



ガスの事故がなくなるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

# チェックシートをご活用ください

## 必ずやろう>>> ✓ 安全確認基本チェックシート

	掘削 工事をする方へ 道路・敷地内を掘削（はつり・カッター舗む）・杭打ち・整地など	解体・撤去 工事をする方へ 建物や構造物を取り壊す	増改築・改装 工事をする方へ 既設建物や路線の改修
工事前確認	<p>道路 <input type="checkbox"/> 道路を工事する際はガス会社※へ連絡・協議しましょう</p> <p>敷地内 <input type="checkbox"/> ガス管の回面は持っていますか？  <input type="checkbox"/> 工事範囲にガス管がないか確認しましょう  <input type="checkbox"/> 「ガス管の位置・深さ」はわかりますか？  <input type="checkbox"/> 「ガスが通じているか」わかりますか？</p> <p><input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p> <p>※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照</p>	<p><input type="checkbox"/> 解体建物のガス管にガスが通じていないことを確認しましょう  <input type="checkbox"/> ガスが通じている場合、ガス会社へ切断処理を依頼しましょう  <input type="checkbox"/> 解体建物に別の建物のガス管が通っていないか確認しましょう  <small>（例：解体するA棟の中に、B棟のガス管がある場合など）</small>  <input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p> <p>※裏面の「万ス管調査窓口検索」を参照</p>	<p><input type="checkbox"/> ガス配管の回面は持っていますか？  <input type="checkbox"/> 工事範囲にガス管がないか確認しましょう  <input type="checkbox"/> 「ガス管の位置」はわかりますか？  <input type="checkbox"/> 「ガスが通じているか」わかりますか？  <input type="checkbox"/> ガス管を損傷する恐れがある場合は、必ずガス会社※へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> 不明な点はガス会社※へ確認しましょう</p> <p>※裏面の「ガス管調査窓口検索」を参照</p>
工事時確認（現場確認）	<p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> 工事場所付近にガス管の標示※がある場合、付近にガス管があるため注意して作業しましょう  <input type="checkbox"/> 工事場所付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に手通りで行いましょう</p> <p>※既設ガス管の標示例</p> <p>注意! 既設ガス管にはポリエチレン管が多く使われています。 材質がポリエチレンというプラスチックのガス管で、塗装が剥げると燃えてしましますので、十分ご注意ください。</p>	<p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> 作業対象にガスマーテーが設置されている場合、ガス管の切断処理をガス会社へ依頼しましょう</p> <p></p> <p>注意! ガスマーテーが被覆管でもガス配管の切断処理をするまでは配管にはガスが通じています。</p> <p></p>	<p><input type="checkbox"/> ガス会社との事前打合せから工事内容や日程を変更する場合は、ガス会社へ連絡しましょう  <input type="checkbox"/> これから作業する配管が目的の配管で間違いないか確認しましょう  <input type="checkbox"/> ハツリ・穴あけ・壊し作業付近にガス管があることを確認した場合、ガス管付近は慎重に作業しましょう</p> <p>※露出ガス管の標示例</p> <p>ガス管</p> <p>コンクリート内のガス管 ドリルにより露出した例</p> <p>ガス管標示シール</p>
事故事例	<p>下水工事のカッター作業中にガス管を損傷。 漏えいしたガスを止めようと、 周りのコンクリートをはつった際の火花で着火。 作業員 1名が顔面と両腕に <b>火傷</b>を負いました。</p> <p></p>	<p>建物解体工事中に、水道管とガス管を損傷し、 水道管から噴出した水がガス管に入り、 周辺の約150mのガスがストップ。 事故を起こした 工事会社は 多額の損害賠償を 請求されました。</p> <p></p>	<p>改修工事に伴う排水管工事の際、 既設回面の十分な確認をせず排水管と誤り込み、 ガスが通じているガス管に穴を開け、 電動工具の火花で着火。 作業員 1名が <b>火傷</b>を負いました。</p> <p></p>

経済産業省  
ウェブサイト  
(他工事事故  
注意喚起)



**ご静聴ありがとうございました**